

マダガスカル ネイチャリングツアー

N202-005

12日間

出発日～帰国日 **2月21日(火)～3月3日(土)**

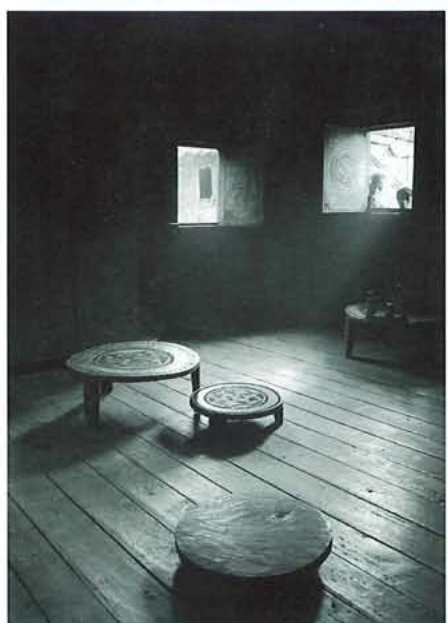
旅行代金 旅行代金に関しましては、
旅行会社に直接お問合せ下さい

大阪・名古屋・福岡の各空港発着も設定があります
(ただし発着時間帯・食事回数・旅行代金が変わりますので、お問い合わせください)

- 1人部屋追加料金: ■ 講師同行
- 現地日本語ガイド同行 ■ ビザ: マダガスカル
- パスポート残存期間: ビザ申請時6ヵ月以上/空白の査証欄が見開き2ページ以上

最 初に訪れるのは、2003年にユネスコの世界無形文化遺産に登録されたザフィマニリ地域です。伝統的な木造家は随所に精緻な幾何学模様の彫刻が施され、その文化的意義は計り知れません。その一方で、永年にわたり自然林の銘木を惜しみなく使ってきた結果、森が失われ、文化の継承が危ぶまれています。しかし森が失われて現れた草原は、植物好きにはたまらない、思いがけない地生ランの花園でした。その種類数は、ざっと見ただけで6属20種を超え、これだけのランが見られる場所は世界でもきわめて希でしょう。危機に瀕する文化と、自然のいたずらかと思えるランの花園。どちらも今のうちに見ておかなければ、いつ消えるともされない儂いもの。今回、両者を満喫することで、人為と自然とのかかわり、そして将来あるべき関係を考えるきっかけになればと企画しました。

チュレアールにいたる国道7号線、通称サザンクロス街道は、高原地帯、多雨林、サバンナから乾生林にいたる、多様な自然環境を貫きます。世界遺産アツィナナナの



天然木を惜しみなく使って立てるザフィマニリの家は随所に精緻な彫刻がほどこされています

同行講師紹介

吉田 彰氏 (勸進生物学研究所植物学第一研究室長。1949年生まれ。マダガスカルをはじめ、南米、北米、インドなど世界の植物を精力的に調査している。また写真もプロ級の腕前。)



雨林のひとつランマファナ国立公園は豊かな降雨に恵まれ、湿潤林ならではの数々の植物が咲き、運がよければこの森だけに生息する小型原猿類のゴールデン・パンプー・レムールに出会えるかもしれません。ナイトサファリでは葉陰で眠るカメレオン、樹幹にとまって鳴くカエル、手の平に収まる最小の原猿のネズミ・レムールなど、珍しい動物を見るチャンスです。

チュレアールへの道筋で立ち寄るズンビツイの森は、西部の段丘に残された数少ない特殊な森。チュレアールに近づくにつれ、マダガスカル特有の乾生林へと移り、ザバオバブがその始まりを告げます。乾生林に入ると、入れ替わるようにフニーバオバブが登場。雨季の乾生林では、マダガスカルで最も美しい花木とされるマメ科のコルヴィレア、真紅の花が目にはみ入るアオイ科の固有属メギストステギウムをはじめ、それこそ無数の花を楽しめるでしょう。

(ツアー同行講師: 吉田 彰)

日次	スケジュール	食事
1	午前 各地発⇒バンコクまで飛びます。 午後 ⇒バンコク着。 夕方 ⇒バンコクで乗り換えて、マダガスカルの首都アンタナナリボへ。 深夜 ⇒高原のアンタナナリボ着。 アンタナナリボ泊	☒ ☒
2	午前 アンタナナリボ発⇒アンブシチャへ。古い町を散策、民芸品のショッピングも。 夕方 ⇒アンブシチャの宿に到着。 アンブシチャ泊	朝 昼 夕
3	朝 アンブシチャ発⇒アントエトラへ。世界無形文化遺産の村を見学。精緻な彫刻を施した家々には圧倒されるでしょう。 夕方 ⇒アントエトラの現地の建築様式を取り入れ、鬱陶気たっぷりの宿に到着。フランス人オーナー夫妻の温かみでもなしは感激ものです。 アントエトラ泊	朝 昼 夕
4	終日 村の近くに残るベドゥルル自然林へ出かけます。森まで3キロほど続く草原は、地生ランのお花畑。入れ替わり立ち替わり現れる20種前後に、息つく暇もありません。森では未同定種と思われる巨大なヤシをはじめ珍しい木々が茂り、運がよければ原猿との出会いもあるでしょう。 アントエトラ泊	朝 昼 夕
5	朝 アントエトラ発⇒ランマファナに移動。 ⇒ランマファナのホテル到着後に昼食をとり、しばし休息します。 夜 ⇒ ナイトサファリで夜行性動物ウォッチングに出かけます。 ランマファナ泊	朝 昼 夕
6	午前 ランマファナ国立公園の原生林を散策します。花ばかりでなく、この森だけに住むゴールデン・パンプー・レムールに出会えるかもしれません。 午後 ランマファナ発⇒昼食後にフィアナランツァに移動。 夕方 ⇒フィアナランツァの宿に到着。 フィアナランツァ泊	朝 昼 夕
7	朝 フィアナランツァ発⇒一気にイサル国立公園に近いラスヒラへ移動します。道中、雄大な景色やタシロイモの一種をはじめとする珍しい花々が楽しめます。 夕方 ⇒ラスヒラ着。 ラスヒラ泊	朝 昼 夕
8	終日 ☒ イサル国立公園をハイキング。奇岩怪石の名所を巡り、植物を探索します。 ラスヒラ泊	朝 昼 夕
9	朝 ラスヒラ発⇒一路、チュレアールへ向かいます。途中、ズンビツイ国立公園に立ち寄り、段丘の特殊な森を見学。ここはシファカやワオレムールなどの原猿類や数多くの鳥類の生息地としても知られています。 夕方 ⇒チュレアール着。 チュレアール泊	朝 昼 夕
10	午前 チュレアール発⇒国内線で首都のアンタナナリボに戻ります。 午後 マダガスカルの物産や民芸品のショッピングの時間があるでしょう。 アンタナナリボ泊	朝 昼 夕
11	昼 ⇒空港に向かいます。 夕方 アンタナナリボ発⇒国際線でバンコクへ。 機内泊	朝 昼 ☒
12	朝 ⇒バンコク着後、ただちに乗り換え、日本へ。 午後 ⇒東京着。 成田空港到着後、解散。	☒ ☒

注) 場所により宿泊設備が若干劣ることがありますが、あらかじめご了承ください。
●日本発着利用航空会社⇒タイ国際航空、全日本空輸、日本航空、チャイナエアラインズ、キャセイパシフィック航空、ベトナム航空、マレーシア航空、またはシンガポール航空
●全食事付き(朝食10回・昼食10回・夕食9回)昼食は原則としてボックスランチになります
●現地および航空会社等の都合によりスケジュールが変更になる場合がありますのでご了承ください